

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成19年5月10日(2007.5.10)

【公開番号】特開2006-268483(P2006-268483A)

【公開日】平成18年10月5日(2006.10.5)

【年通号数】公開・登録公報2006-039

【出願番号】特願2005-86187(P2005-86187)

【国際特許分類】

G 0 6 F 13/38 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 13/38 3 5 0

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月16日(2007.3.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

データ転送を制御するデータ転送制御装置であって、

1つのデータ単位がKビット(Kは2以上の整数)となるデータがインターフェースバスを介して入力されるインターフェース回路と、

シリアルバスを介して送信するパケットの生成を行うリンクコントローラとを含み、前記リンクコントローラは、

Kビットの前記データに対してLビット(Lは0以上の整数)のダミーデータを付加することで得られる(K+L)ビットのデータが、M個(Mは1以上の整数)ずつ集まつた(N×I)バイト(N、Iは1以上の整数)のパック化データを生成するデータフォーマッタと、

前記シリアルバスを介して送信するパケットとして、前記パック化データがデータフィールドに挿入されるパケットを生成するパケット生成回路とを含み、

前記データフォーマッタは、

前記Kに応じて前記L及びMが可変に設定される前記パック化データを生成することを特徴とするデータ転送制御装置。

【請求項2】

請求項1において、

前記データフォーマッタは、

K=6、I=1である場合にはL=0、M=4、N=3となり、或いは

K=7、I=1である場合にはL=1、M=2、N=2となり、或いは

K=8、I=1である場合にはL=0、M=2、N=2となり、或いは

K=10、I=1である場合にはL=2、M=2、N=3となり、或いは

K=12、I=1である場合にはL=0、M=2、N=3となり、或いは

K=16、I=1である場合にはL=0、M=1、N=2となり、或いは

K=24、I=1である場合にはL=0、M=1、N=3となるパック化データを生成することを特徴とするデータ転送制御装置。

【請求項3】

請求項1又は2において、

前記データフォーマッタは、

K = 6、 I = 2 である場合には L = 0、 M = 8、 N = 3 となり、或いは
K = 7、 I = 2 である場合には L = 1、 M = 4、 N = 2 となり、或いは
K = 8、 I = 2 である場合には L = 0、 M = 4、 N = 2 となり、或いは
K = 10、 I = 2 である場合には L = 1、 M = 3、 N = 2 となり、或いは
K = 12、 I = 2 である場合には L = 0、 M = 4、 N = 3 となり、或いは
K = 16、 I = 2 である場合には L = 0、 M = 2、 N = 2 となり、或いは
K = 24、 I = 2 である場合には L = 0、 M = 2、 N = 3 となるパック化データを生成
することを特徴とするデータ転送制御装置。

【請求項 4】

請求項 1において、

N × 8 × I = (K + L) × M であることを特徴とするデータ転送制御装置。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のいずれかにおいて、

前記パケット生成回路は、

前記シリアルバスを介して送信するパケットのヘッダに、前記 M、N を設定するための
設定情報を挿入することを特徴とするデータ転送制御装置。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 のいずれかにおいて、

前記 M、N を設定するための設定情報を記憶する内部レジスタを含み、

前記データフォーマッタは、

前記設定情報に基づいて、前記ダミーデータを挿入することを特徴とするデータ転送制
御装置。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 のいずれかに記載のデータ転送制御装置と、

前記インターフェースバスを介して前記データ転送制御装置に接続される 1 又は複数の
デバイスとを含むことを特徴とする電子機器。